記　者　発　表　資　料

平成 27 年 1 月 29 日
横浜市歴史博物館
（公財）横浜市ふるさと歴史財団

横浜市歴史博物館

企画展　鶴見川流域のくらし

－生業（なりわい）・水運・信仰・祭礼－

東京都町田市に端を発し、横浜市鶴見区末広町で東京湾に注ぐ鶴見川は、かつて「暴れ川」といわれていたように流域にたびたび水害をもたらす川として知られています。

けれども、鶴見川がもたらしたのは災害だけではありません。川は農業の恵みの源となる水や川船による輸送の手段をもたらし、流域では稲作や畑作、果樹の栽培などが行われています。

本展では、鶴見川を利用して営まれていた人々のくらしのようすを、生業・水運・信仰、そして祭礼を視点に紹介します。

展示の見どころ

鶴見川流域の今では見られない生業を紹介します。

明治時代の鶴見川流域では、天然製氷や素麺作りという生業が盛んに行われており、それらは鶴見川を行き来していた長さ十数メートルの川船で横浜や東京へ運ばれていました。

展示では、古文書などの資料から、流域の環境を利用して営まれた生業と鶴見川を用いた流通のようすを紹介します。

市民の視点を活かした展示をします。

博物館では「民俗に親しむ会」とともに鶴見川の源流から河口まで 3 年にわたるフィールドワークを行い、市民の興味や関心となった石材や石造物、狛犬や祭礼を展示のなかで取り上げました。さらに、そのレポートを『歩いた、見た、調べた　横浜市歴史博物館　民俗に親しむ会　鶴見川流域フィールドワーク調査報告』として、本展に合わせて刊行します。

公募の写真展「鶴見川流域狛犬百態」を展示します。

「民俗に親しむ会」の興味・関心の一つであり、市民のレポートでも取り上げられた鶴見川流域の狛犬をテーマに、公募した写真展を開催します。時代や作者によってさまざまな表情を持つ流域の狛犬 100 対以上の狛犬のすがたをぜひ、お楽しみください。

名　　称	「鶴見川流域のくらし　－ 生業・水運・信仰・祭礼 － 」 主催：横浜市歴史博物館　　共催：横浜市教育委員会
開催期間	平成 27 年 1 月 31 日（土）～3 月 15 日（日）
休 館 日	月曜日（祝日・振替休日の場合は翌日）
開館時間	午前 9 時～午後 5 時
観 覧 料	一般 300 円、高・大 200 円、小・中 100 円（常設展は別料金）
会　　場	横浜市歴史博物館　都筑区中川中央１－１８－１ 市営地下鉄「センター北」駅下車徒歩５分
ＵＲＬ	http://www.rekihaku.city.yokohama.jp/

講演会（事前申込）
３/７（土）「鶴見川流域のくらしと洪水の現代・未来史」
講　師：岸由二氏（ＮＰＯ法人鶴見川流域ネットワーキング代表理事・慶応大学名誉教授）
時　間：14:00～　定　員：150人　参加費：300円

鶴見川流域フィールドワーク（事前申込）
①２/４(水)　「町田市小山田地区周辺」
②２/11(水・祝)「町田市忠生・図師町周辺」※相模原市博民俗調査会連携フィールドワーク
③２/25（水）　「町田市三輪町・川崎市麻生区・横浜市青葉区」（恩廻公園調節池見学）
④３/４(水)　「横浜市港北区周辺」（鶴見川流域センター見学）
⑤３/11(水)　「横浜市鶴見区周辺」
時　間：①②12:30～16:00、③④⑤9:30～16:00
定　員：30人　参加費：①②500円、③④⑤700円

親子や家族で楽しむ歴史とくらしのフィールドワーク（事前申込）
３/14（土）「横浜市鶴見区周辺」（旧東海道と鶴見線）
時　間：9:30～16:00　定　員：30人
参加費：大人700円、高校生以下400円（別途公共交通機関の交通費が必要です）

市場神代郷神楽公演（当日先着順）
２/１(日) 萩原諄夫社中
時　間：11:00～、14:00～　参加費：無料

ギャラリートーク（当日先着順）
日　程：２/８(日)、２/22(日)、３/８(日)
定　員：30人　時　間：各回11:00～、14:00～
参加費：無料（企画展チケットが必要です）

写真展「鶴見川流域狛犬百態」
市民の方からご応募いただいた写真展。流域の狛犬の様々な表情をお楽しみください。

港北区新吉田で特産品だった素麺のラベルとその版木　萩生田進氏所蔵

流域の製氷関係の古文書　飯田助知氏所蔵
神奈川県立公文書館保管

鶴見川で使われていた和船
池谷道義氏所蔵

耳がたれた狛犬（野津田神社）

※電力事情などにより、開館時間が変更になる場合があります。ご来館の際にはホームページ等でご確認下さい。

画像資料をご希望の場合は下記へご依頼下さい。メールでお送りします。
横浜市歴史博物館（担当：本間）　ＴＥＬ０４５－９１２－７７７７

お問い合わせ先
横浜市歴史博物館　副館長　平野 卓治　Tel 045-912 -7777

平成26年度 横浜市歴史博物館◉企画展

桃の袋かけ

鶴見川流域のくらし

生業(なりわい)・水運・信仰・祭礼

2015年1月31日【土】→3月15日【日】

横浜市歴史博物館
市営地下鉄「センター北」駅下車、徒歩5分　Tel.045-912-7777

●**開館時間**……9:00～17:00（券売は16:30まで）　●**休館日**……月曜日　●**観覧料**……［企画展］一般300(240)円、大学・高校生200(160)円、小・中学生100(80)円
［常設展共通］一般500(400)円、大学・高校生300(240)円、小・中学生100(80)円　※（　）内は20名以上の団体料金です。※毎週土曜日、小・中学生と高校生は無料です。
当館ウェブサイトに観覧料が割引になるお得な情報があります。

大綱橋と川船

鶴見川で泳ぐ

地神塔の前で

写真提供：池谷道義氏

主催：横浜市歴史博物館　共催：横浜市教育委員会　後援：朝日新聞横浜総局・神奈川新聞社・産経新聞社横浜総局・東京新聞横浜支局・日本経済新聞社横浜支局・毎日新聞横浜支局・読売新聞東京本社横浜支局・NHK横浜放送局・tvk・NPO法人鶴見川流域ネットワーキング・国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所・鶴見川舟運復活プロジェクト　協力：モザイクモール港北・相模原市立博物館民俗調査会

横浜 PHOTO YOKOHAMA
フォト・ヨコハマ2015

鶴見川は、町田市上小山田町に端を発し横浜市鶴見区末広町で東京湾に注ぐ、42.5キロの長さをもつ一級河川です。現在は流域面積の85％が市街地化された典型的な都市河川となり、流域人口はおよそ200万人を数えています。川岸の整備が進んだ横浜市域では、毎日散歩やジョギングなどをする人々で賑わっています。

市街地となる以前の鶴見川流域には、多摩丘陵や下末吉台地に開かれた谷筋、いわゆる「ヤト」の景観があり、その環境を利用して農業を中心とした生業が営まれていました。また川は物資の輸送に大きな役割を果たしました。川船を利用して流域の農産物や特産品が横浜や東京方面に出荷され、また農業に必要な肥料がもたらされました。人々は川を利用し、また活かしながらくらしを営んできたのです。

横浜市歴史博物館では、平成21年(2009)に「民俗に親しむ会」を組織し、3年間にわたり、鶴見川の源流から河口に至るフィールドワークを行いました。本展ではその成果を活かし、会員が関心を持ったテーマを展示の構成に取り入れます。また同様に相模原を中心にフィールドワークなどの活動を続けてきた相模原市立博物館民俗調査会の協力を得て、その調査データを活用するほか、関連事業を実施します。

主として明治時代以降、この鶴見川を取り巻く環境を利用して営まれていたくらしのすがたを少しでも感じていただければと思います。

ブッタイ(当館)

綱島之桃ラベル(池谷道義氏)

鶴見川絵図(池谷道義氏)

展示構成

導入展示　鶴見川の和船

Ⅰ　鶴見川の流れをたどる

Ⅱ　鶴見川流域のくらし　―生業と水運―

Ⅲ　鶴見川流域の石造物

Ⅳ　鶴見川流域歳時記　―祭礼と信仰―

主な展示資料

●御用船(池谷道義氏)●水害予備船(飯田助知氏・鶴見川舟運復活プロジェクト)●鶴見川上流水源地上小山田ヨリ佐江戸落合橋綱島組合鶴見川迄川幅川長記入図面(添田有道氏)●忠生村全図(若林昂氏)●素麺諸色仕入帳(加藤憲一氏)●奉納旗竿台石(鶴見区真福寺末吉不動)●中村煉瓦工場製煉瓦(中村清隆氏)●大蛇(注連引き百万遍保存会製作)●双盤念仏道具(青葉区真福寺)●おしゃもじ様(港北区本法寺)

おしゃもじ(青葉区真福寺)

関連企画

◉講演会「鶴見川流域のくらしと洪水の現代・未来史」

講師:岸由二氏(NPO法人鶴見川流域ネットワーキング代表理事・慶応大学名誉教授)
3月7日(土)14:00～
定員:150人　往復はがきで申し込み　締め切り:2月25日(水)　参加費:300円

◉鶴見川流域フィールドワーク

民俗に親しむ会や相模原市立博物館民俗調査会のメンバーと一緒に、鶴見川流域とその周辺を歩きます。

①2月4日(水)　町田市小山田地区周辺
②2月11日(水祝)　町田市忠生・図師町周辺　※相模原市博民俗調査会連携フィールドワーク
③2月25日(水)　町田市三輪町・川崎市麻生区・横浜市青葉区(恩廻調節池見学)
④3月4日(水)　横浜市港北区周辺(鶴見川流域センター見学)
⑤3月11日(水)　横浜市鶴見区周辺

①②は12:30,③～⑤は9:30現地集合,解散は16:00頃を予定
定員:各回30人　往復はがきで申し込み
締め切り:①②…1月21日(水),③…2月11日(水祝),④⑤…2月25日(水)
参加費:①②500円,③～⑤700円　※別途公共交通機関の交通費が必要です。

◉写真展「鶴見川流域狛犬百態」

市民の方からご応募いただいた写真展。
流域の狛犬のさまざまな表情をお楽しみください。

◉親子や家族で楽しむ歴史とくらしフィールドワーク

小学生から大人まで楽しめるコース。お一人でもお申込みできます。
3月14日(土)　横浜市鶴見区周辺(旧東海道と鶴見線)　現地集合・解散
定員:30人　往復はがきで申し込み　締め切り:2月25日(水)
参加費:大人700円,高校生以下400円　※別途公共交通機関の交通費が必要です。

◉ギャラリートーク

展示を見ながら、担当学芸員や民俗に親しむ会の会員が解説します。
2月8日(日),2月22日(日),3月8日(日)　各日 11:00～,14:00～
定員:先着30名　参加費:無料(参加には企画展チケットが必要です)

◉市場神代郷神楽公演

2月1日(日) 11:30～,14:00～(各回30分程度)
公演:萩原諄夫社中　会場:横浜市歴史博物館・講堂

◎申込み方法:
往復はがきに、①〒・住所、②氏名(ふりがな)、③年齢、④電話番号、⑤ご希望の催事名と日時、を明記のうえ、お送り下さい。申し込み1枚につき一家族まで。応募者が定員を超えた場合は抽選となります。
※お申し込みに関する個人情報は他の目的には使用いたしません。

●1月31日(土)・2月1日(日)は博物館感謝デー。全館無料でご覧いただける2日間。楽しいイベントも盛りだくさんです。

横浜市歴史博物館

〒224-0003 横浜市都筑区中川中央1-18-1
Tel.045-912-7777　Fax.045-912-7781
http://www.rekihaku.city.yokohama.jp/

次回企画展予告「横浜発掘物語2015」(仮題)
4月4日(土)～5月24日(日)

観覧車に乗って流域の景色を楽しもう

日付印のある企画展チケットの半券で、モザイクモール港北の観覧車に無料でご乗車いただけます。(ただし1乗車定員4名で、当日1回に限ります)

駐車場あり(1時間200円)